アシュラム ASHRAM

2024.12月第673号

発行所　アシュラムセンター
523-0894 近江八幡市中村町567-2
Tel 0748-33-4030
Fax 0748-33-8856

アシュラムセンターホームページ
www.ashramcenter.jp

編　集　アシュラム誌編集委員会

振　替　01050-6-53772
アシュラムセンター

印　刷　明文舎印刷商事（株）

解　題

アシュラムとはインドの言葉で「退修」という意味で、スタンレー・ジョーンズ博士によって日本に紹介されたものであります。祈りの生活をもってみ前に自らを整え、今日に於ける主のご委託にこたえんというのがその願いです。

瞑想

起きよ、光を放て。あなたの光が来て
主の栄光があなたの上に昇ったのだから。

イザヤ60：1（協）

主幹牧師　榎本　恵

「もっと光を」は、ドイツの詩人ゲーテの臨終の言葉として有名である。彼の著書『若きウエルテルの悩み』や『ファウスト』などは、読んだことがなくても、誰もが知る名著である。

　詩人であり、政治家であり、そして自然科学者でもあったゲーテの最後の言葉「もっと光を」は、確かに詩的であり、また光の色彩学の研究者でもあった彼を彷彿させる名言ではある。

　ところが実際は、死の床に伏し、そばにいた召使に、「もっと光が入るように、寝室のよろい戸を開けてくれ」と言ったというのがどうも真相らしい。なんとも気抜けするような話だが、しかし、人間の真実を求め、また自然の法則を探究し続けた天才が最後に残した言葉としては、いかにもというものだろう。

　ところで、これとは反対に暗闇を求めた作家もいる。明治以降、急激に近代化、西洋化していく我が国に対して、違を唱えたのが谷崎潤一郎の「陰翳礼讃（いんえいらいさん）」だった。谷崎は、その最初にこう書いている。「暗い部屋に住むことを余儀なくされたわれわれの先祖は、いつしか陰翳のうちに美を発見し、やがては美の目的に添うように陰翳を利用するに至った。（中略）西洋人が日本座敷を見てその簡素なのに驚き、ただ灰色の壁ばかりで、なんの装飾もないという風に感じるのは、彼らとしてはいかさま尤もであるけれど、それは陰翳の謎を解しないからである」。

　まるで写真のごとき緻密な西洋の絵画と、背景と物体が溶け込むような東洋の墨絵の違いは、まさにこのあたりにあるのだろう。日本人が、障子越しの淡い光の中に漆器の美しさを感じ、西洋画の中でも、特にモネに代表される印象派の絵画を好むのも頷ける。しかしいずれにせよ、それが「もっと光を」なのか、それとも「陰翳の謎」なのかに関わらず、共に光がなくてはならないことだけは事実だろう。

　さて、今月選ばれたローズンゲンのみ言葉は、イザヤ書60章1節の言葉である。この「起きよ、光を放て」という力強い1節の言葉に続き、イザヤはこう告げる。

　「見よ、闇は地を覆い、暗黒が国々を包んでいる。しかし、あなたの上には主が輝きいで、主の栄光があなたの上に現れる」（イザヤ60：2）と。これは、主の降誕を祝う、公現日（エピファニー）に読まれる聖書箇所である。まさに暗黒の世界を照らす真の光としてお生まれになったイエスの光を受けて、私たちはその光を放つのだ。そう、私たち自身が、光を輝かせるのではない。太陽の光を反射し輝く月や星のように光を放つのだ。太陽の上る昼間ではなく、暗い夜空に、そう、この暗闇にこそ輝く光なのだ。

　友よ、私たちは、決して人生の暗闇を恐れる必要はない。いやむしろこの暗闇こそが、私たちに、その光の存在を明らかにし、鮮やかに私たちが光を放つことをお許しくださる。私が自ら輝くのではない、主が輝きいでて、主の栄光があなたの上に現れるとき、私たちはその光を放つことができる。主の光を待ち望む者となろうよ。

自由メソジスト・キリスト教会
宣教40周年記念感謝特別聖会説教

「汝の足からくつを脱げ」より抜粋

榎本 保郎

1976年８月15日午後三時、ブラジル自由メソジスト教団設立四十周年記念感謝聖会（於サウーデ教会）
前列左から成沢夫人、内田夫人、小野師、榎本師、同夫人、清水夫人、林夫人、小野真夫人。中央左から成沢師、丹羽師、林師、内田師、清水師、山本師、作間師、小野真師、三列目、左から中原師、木下師、大山師、長田師、滝谷良一師ら。（大島師夫妻と滝谷儀助師夫妻が折悪しく不在）

ある時に、私は田舎に帰りました。すると小さい時の友達に会いました。彼が私に「君は今、何をしているのか」と聞いたのです。少年時代に真面目な生活をしていましたら、胸を張って「牧師をしている」と伝えるのですけれど、周りの家の柿を盗んできて食べてみたり、こちらの家の可愛い子猫をいじめたり、いろいろな悪い事をして来ているものですから、胸を張って「牧師をしている」と仲々云えないです。

　私の故郷の村の自由メソジスト教会は、60周年を迎えることになり、その村の牧師から電話が掛かって来ました。その記念集会に是非来て伝道会を持って欲しいと云って来たんです。私はそのような招聘がある前から心配をしていたのです。もしそのような事があったら、どうして断ろうかと思っていたのです。ブラジルに来て大きな事を云っても、私を知っている人はおりませんけれども、昔の私の事を知っている人が説教を聞いたら、びっくりして死んでしまう人があるのではないかと心配をしたからであります。

　そういう訳で、小さい時の友達に聞かれましたら、小さい声で「牧師をしてる」と答えました。処が、彼は遠くの野原で仕事をしているので、よく聞こえないのであります。それで「何っ？」と、こう問い返しました。仕方がないので、私は胸を張って「牧師をしておる」と云いました。そうすると彼は、目を丸くして私の顔つきから足の爪先まで眺めました。そして彼は「キリストも、えらい損しよったね」と云いました。君のような力がない者が牧師をしているのでキリストは損していると云うのです。私にも、プライドがあるので、少しは腹が立って来ました。しかし、幼い時のことを知っている彼の前では、余り何かを云えないのであります。

　そういう私でありますが、中世の神父ビアンネの事を思うと胸が踊ってくるのです。例え私たちがどのように惨めな人間でありましても、どんな力のない者でありましょうとも、神が私たちを掴んで下さる時に、素晴らしい力を与えられる事ができるのであります。神は私たちを用いようとして彼の御手の中に握りしめて下さるのです。その神の前に、自らを全く委ねてまいります時に、私たちは等しく神の業をなす事が出来るのであります。

　神の使は、モーセに云いました。

「あなたの足から、くつを脱ぎなさい。あなたの立っている場所は、聖なる地である」

　あなたの足からくつを脱ぎなさい。私はこれは、自分が、自分がと思う心を、自分を脱ぐ事だと思います。私たちは少ししかない力を以て何とかして神さまの為に働こうとするのであります。そういう事は、神の大いなる力を止めている事が多いのです。全く自分を神に委ねる時に、神は私たちの人生に於て働かれるのです。クリスチャンの生活は、私たちが神様の真似をする事ではありません。神が私たちの人生に於て働かれる事です。その時に、私たちは全く自由にされる

のです。マルチン・ルターの有名なる言葉にこういうのがあります。

「神は無から創造の業をなされたのであるが、私たちも無にならなければ神の栄光を現すことはできない」

わたしたちは、自分の僅かばかり持っているものを誇ろうとするものです。その時、人は神の創造の業をとどめているのです。神は何もないところから天と地を造られたのです。神のみ業の現れるために、私たちは自分自身の持っているものを神に委ねるべきであります。モーセも、自分の力に頼って立ち上がった時に、そこでは神は働いて下さいませんでした。彼は失望落胆せねばなりませんでした。しかし、80才になった時、神の前に一切を捧げました。この老いたるひとりの人物を通して、出エジプトというあの大いなる業がなされるに至りました。

自由メソジスト・キリスト教会が宣教を開始されて40年になると伺いました。その40年の間にどんなに先輩方の苦労が多かったかと思います。血の汗と涙の祈りなくして今日に至る事はできなかったことでしょう。その意味に於て、本当に私たちは今日、感謝の祈りを神にささげなければならないでしょう。聖書に、私たちは単に過去だけを振り返ってはならないと録されています。又、祈りの中に幻を描かなければならないと云われています。

（続く）

⬆保郎師のこの説教文が掲載された記念誌をくださった滝谷儀助師夫人エミコ姉と。両端は、スガワラ牧師夫妻。2024.2.ブラジルアシュラム

⬆ブラジルよりジュランジール柳原牧師、マスミ姉ご来訪。アジアでのアライアンス集会ご奉仕途中に。

⬆11月センター聖書教室。第48回阪神アシュラム、修道場アシュラム参加の方々も共に。金子敏明師の説き証し感謝。

ジュランジール柳原牧師のお証し（一部抜粋）

ちいろば牧師記念チャペルにて
（到着後、長椅子に腰かけホッとひと息、そしてお語りに。ごく自然に）

「（サンパウロ）大学時代に、恩師より『神があなたを必要としているのではなく、あなたが神さまを必要としているのです！』と言われ、自分の中の傲慢さに気づき、一晩中眠れなかった。ああ…なんて自分は罪人なんだ…！友人と夜ずっと祈り、悔い改めることができ、イエス様に人生を献げようと決心。そして牧師への道を進むことに」

➡ジュランジール柳原牧師、マスミご夫妻の親族皆様！アシュラムに勢揃い！今年２月。

⬆京都西田町教会の皆様、ちいろばチャペル、Wハウス、シメオン黙想の家見学、ラビリンス体験。オリエンテーションは、恵師が沖縄よりZoomで。

大阪聖書教室の恵み

（第49回年頭アシュラム 各地聖書教室の報告より抜粋）

島田　洋子

大阪聖書教室は毎月第３火曜日の10時半から恵先生が２時間かけてお越しくださっています。

今はアベルモンさんと光太さんも来ていただいて、今までと違った豊かな恵みをいただいているところです。

メンバーは堺大浜キリスト教会から唄野絢子さんはじめ多くの方が来られています。時々新しい方が来られますが、なかなか続かないのが現状です。

今はマタイによる福音書を順番に読んでいて、示されたことを先生のメッセージと共に皆さんの受けた恵みを自由に語る中で、こんなふうに聖書が読めるんだなと多くの気づきが与えられる恵みな時です。まただんだん皆さんと長くお付き合いできるようになって親しみができてとても恵まれる聖書教室です。新しい方が与えられたらと願っています。

（高槻聖書キリスト集会）

11月。恵師は沖縄。アベル門宣教師の第一歩は？緊張しつつも　皆様と、主に見守られ何とか踏み出せました！感謝

静岡聖書教室の恵み

（第49回年頭アシュラム 各地聖書教室の報告より抜粋）

榎戸　真弓

静岡聖書教室は、第３月曜日の10時からと13時半からの２回行っております。

午前はマタイ、午後はコリントを読んでいます。会場は、私たちの住宅である静岡英和女学院の旧宣教師館です。

今から８年くらい前に恵牧師が尋ねてこられました。その前に驚くような出会いがあったのですが、静岡聖書教室の会場が使えなくなるので、榎戸さんのご自宅をお借りできないかとご相談をいただいて、まずは午後のクラスから６、７人のメンバーで始まりました。

私は静岡英和女学院の卒業生ですが、大先輩が何人も参加されていて、私も参加させていただくことになりました。

今は午前と午後に分けるくらいに人数が増えて、全員合わせると20名くらいになります。その中にはノンクリスチャンの方も４名ほどいらっしゃいます。本当に不思議なご縁で、ご興味を持たれて参加されています。

恵先生のお話が魅力的で、楽しくて、聖書教室がいつも笑いに包まれています。ご自分で聖書を購入された方もいました。英会話の先生もいるのですが、子供たちに海外の行事を教えるために聖書を学んだら良いのではと英語の聖書を渡したところ、今では３冊の聖書を読み比べて、熱心に研究しています。

２クラスでいっぱいなので、なんとか夜の部もやっていただきたいと思っています。

社会人の方も仕事が終わった後に参加できるので、夜のクラスができるように、また恵先生の健康が守られるようにどうかお祈りください。

（日本基督教団　静岡草深教会）

10月榎戸基、真弓ご夫妻、ご来訪。早天祈祷会にリアル参加！ご自宅での静岡聖書教室に愛を注がれ病の方等もズーム参加できる事に！

静岡聖書教室、英和女学院宣教師館での開催始めの頃。池谷治朗兄も、毎月熱心に。今は寿子母が天の治朗兄と共に。

〈誕生日カード感謝のお便りより〉 アシュラムで皆様と共に励んだことを、なつかしく思い出しています。アシュラムで皆様の信仰がいよいよ深められ、神様の祝福が豊かにありますように、お祈りしています。
豊永 康子（日光オリーブの里アシュラム）

I Love Taiwan Mission（ILT）に参加して 3

王牧師から絵本のレクチャー中

私のグループは日本から２人と韓国、インドからそれぞれ１人の４名で、派遣されたのは台中の街中にある復興教會という教会でした。そこは４階建のビルで、１階はキッチンと集会室、２階は礼拝堂、３階は牧師館、４階は地域の子供たち用の多目的室。私たちは、林碧堂牧師・王美書牧師ご夫妻と息子が住む牧師館でお世話になりました。

日本から来たということで、私たちのために、石の床にわざわざ畳を敷いた部屋を用意してくださり、そこで寝泊まりしました。（数日後ユースにはあるまじき腰痛を患ってしまったので、ふかふかのベッドに移して頂いたのだが）。

日本からのもう一人の参加者は、大学生で韓国語が堪能なので、コミュニケーションや食事の面で大いに助けられました（食べきれないほどの美味しい料理でもてなされたので）。また、敬和学園高校の卒業生で、後宮先生のお孫さんにお世話になっていたりと不思議な導きでした。

10日間、私たちをもてなすために多くのプログラムを準備し、教会に所属するユースの方々がいろいろなところに連れて行って下さいました。観光地や、市場、美味しいマンゴー農家にお邪魔したり。ほぼ毎日タピオカミルクティーを飲んだので、また太ったような気がします。

滞在中に心に残ったことは多々ありますが、一つは『阿里山の神木』という絵本を牧師ご夫妻が紹介してくださったことです。それは、台湾にある立派な木々が靖国神社や東大寺など日本の神社仏閣に使われるために日本に持って行かれたことを、失った母に例え、その帰りを待ちつづける鹿の物語でした。王牧師は朗読しながら泣いていました。旦那さんの林牧師も泣いていました。それは彼らにとってただ悲しい絵本ではなく、誇りと悔しさと怒りとが入り混じったものなのでしょう。そのことに衝撃を受けたとともに、何も言えない自分がいました。（つづく）

榎本 光太

⬅画家の井上達夫兄、ファミリーでご宿泊。寄贈くださったダブルハウスレンガの絵と共に。

⬆11月みんなのカフェちいろば聖書入門講座。恵師、少々調子悪し、でもみことばと皆様に力をいただきました。感謝。

いえじま 雑記18　無教会の集会に

先日、東京に行ってきました。文京区にある今井館で開催された無教会全国集会に出席するためです。

朝一番のフェリーで伊江島を出て、バスと飛行機と電車を乗り継いでようやく宿に着いたころにはすっかり夜になっていました。集会はその翌日。会場の近くに宿をとったと思い、徒歩で向かっていたら、迷ったわけでもないのに結局一時間近く歩く羽目になってしまい、東京は広いなと思い知りました。

「本当の平和」というテーマで開かれた集会はとても濃密なもので、朝から夕方までみっちり講話が詰め込まれ、大変学びの多いときとなりました。私も伊江島の歴史やここでの研究について講演させてもらい、無教会の方々とささやかながら交流の機会をいただきました。

まったく平和とは言えない世界が続いていますが——そもそも平和な世界などあったのでしょうか——、その中でも言葉を発していくことを諦めてはいけないのだなと思わされた次第です。

その二日後、来た道を戻って伊江島に帰りました。旅の疲れからか、一家揃って流行り風邪にみまわれています。寒くなってきましたが、皆様もどうかご自愛ください。**榎本 空（ノースカロライナ大学院生、沖縄伊江島在住）**

あとがき

主の御降誕を、心から喜び、ほめたたえます。いよいよ、アシュラムセンター設立50年の記念の年が始まりました。第50回年頭アシュラムを皮切りに、２０２５年11月24日(月)から26日(水)のアシュラムセンター創立50周年記念の国際正義平和アシュラムまで、記念の行事が続きます。

主がこの50年を守ってくださり、主が導いてくださり、今ここにあることを覚えたいです。

同時に来年２０２５年は、あの悲惨な太平洋戦争の終結から、80年の年でもあります。どうか、世界中の争いや憎しみが終わり、ヨベルの年の、解放の喜びの角笛を吹き鳴らされることを、祈って参りましょう。

どうか、年頭アシュラムにお越しください。（恵）

あなたのみ言葉はわが足のともしび
わが道の光です。
詩篇一一九・105
榎本和子

中止、又はオンラインに変更もあり。
ホームページ、電話等でご確認下さい。直前の変更の場合あり！

【主な問い合わせ先】0748－33－4030 アシュラムセンター
【Zoom・インターネット等 問い合わせ先】080－3983－8140

12月の聖書教室など

3(火)	Zoom聖書教室（AM10:30、PM7:30）
6(金)	阪神ミニアシュラム（神戸聖愛教会 PM1:00）
9(月)	福岡聖書教室（博多クリオコートホテル PM1:30）
14(土)	聖書と学ぶ会（Zoom PM8:00）
16(月)	使徒書に学ぶ会（Zoom PM7:30）
23(月)	静岡聖書教室（旧・英和女学院宣教師館 AM10:00、PM1:30）
24(火)	東京聖書教室（御茶ノ水クリスチャンセンター４F AM10:30）
25(水)	美しい足の会（Zoom AM10:30、PM7:30）
1/10(金)	阪神ミニアシュラム（神戸聖愛教会 PM1:00）

12月のアシュラムなど

6(金)～7(土)	クリスマス礼拝（AM11:00・ちいろばチャペル） コンサート・愛さん会（PM12:00 アンナ祈りの家）	0748－33－4030 アシュラムセンター
14(土)	みんなのカフェちいろばの クリスマスランチ（アンナ祈りの家）	0748－33－4030 アシュラムセンター

１月のアシュラム予定

1月16(木)～18(土)	第50回 年頭アシュラム

２月以降のアシュラムなど

２月３(月)～５(水)	第42回 台湾愛修會（アシュラム後、ツアーの予定があります。詳しくはHPで）
11月24(月)～26(水)	アシュラムセンター創立50周年記念 国際正義平和アシュラム in 近江八幡

ご参加お待ちしています！

50th 年頭アシュラム
2025年 1/16(木)～ 18(土)

主　題　大事にすべき良いものとは？
主題聖句　すべてを吟味して、良いものを大事にしなさい。　テサロニケ５：21
会　場　**ホテル琵琶湖プラザ**
奉 仕 者　**榎本 恵牧師**（アシュラムセンター主幹牧師）
　　　　平野 克己牧師（日本基督教団代田教会、説教塾）
会　費　**24,000円**（ツイン）**26,000円**（シングル）数に限りあり
申　込　1月９日（木）まで

献金のお願い

皆様のお祈り、お支えに感謝いたします。
引き続きお祈りとご献金をお願い申し上げます。

キャッシュレス献金はこちらのQRコード
または「オンライン献金.com」と検索ください。
アシュラムセンター運営
記号番号　01050-6-53772

みことば

日本キリスト教団取手教会
牧師　金子敏明

「生きろ！」　ルカ２：１～21

ルカ福音書ではベツレヘムで二人が泊まる場所がなかったとされていますが、ヨセフがダビデの血筋に属しているのなら、宿泊を拒否されるのは不思議です。ルカはダビデの栄光とは正反対の救い主を描こうとしたのでしょう。キリスト誕生の知らせが告げられたのは、町中で暮らせず、人々のいやがる仕事だった羊飼いたちでした。この時も彼らはいつも通り野宿。今でいえばそれは貧困に苦しむ人たちかもしれない、いじめに悩む子どもたちかもしれない、こんな夜にも「死にたい」とネットに呟く人の姿かもしれません。

クリスマス物語を一言でいえば「生きろ」という神様からのメッセージではないでしょうか。いのちが押しつぶされそうになっている、心が踏みにじられている、そういうこの世界。少子化のはずなのに児童虐待は増えている。自ら命を絶つ人の数は先進国中トップクラス。私たち自身だって例外ではない。誰もが寂しさを抱えて生きています。大きな国、大きな力による支配の中で一人ひとりのつながりが分断されてしまっている。だから今、神様は2024年のこの世界に向けて「あなたは生きろ。さあ私に手を伸ばしなさい」と告げられます。

５年前、母がアドベントの時に入院しておりました。母のいる病棟にはいくつかの談話室があるのですが、その一つがガラス張りの新生児室に面していたのです。病院の雰囲気はどうしても暗い。でもこの部屋だけは赤ちゃんたちが見られて心が温まります。「おおかわいいねえ」「ああ元気に泣いてるよ」とか。私など母の病室に行く前にこの談話室に寄ってから行くようになりました。

どうしてイエス様は赤ちゃんとしてこの世界に来られたのでしょう？キリストは誰もが安心して近寄れる方だって、神様が教えてくれるためだったのです。神様は素晴らしい方だけど、どこかおそれ多い。でも赤ちゃんならばみんなが近寄れます。笑顔になれます。それは神様が私たちに「ほら色んな背負っているモノをおろしていいのだよ」「安心して私の近くにきて、さわっていいんだよ」と告げられているのです。

キリスト教会ってどんなイメージですか？なんか気高い感じですか？敷居が高そうですか？マジメな人たちの集まりですか？難しい話をされそうですか？そうだとしたら、変わらなきゃならないのは教会自身です。安心して誰もがイエス様に近づいて触れられるところにならないと。

「地には平和」という天使の歌声が今宵、あなたの心に響きます。私たち一人ひとりも、ひとり荒れ野で野宿しているかのように孤独です。でもキリストの降誕は、その心にそっと小さな光をともして下さいます。それはこの世のどんな力よりも、どんな華やかに見える眩い光よりも、私たちの心を明るく照らしてくれるのではないでしょうか。

クリスマス、おめでとうございます。

〈早天祈祷会での祈り〉神さまの約束は、とこしえに変わらない。そのことを信じ、今の時代、耐え忍び、同時に明るく上を見上げ、主が共にいて下さることを喜び祝うものとなれますように。ダビデのように。
恵（歴・上17）